

第36回 緑の市民懇話会 会議録（要旨）

1 日 時 平成27年 6月29日（月） 10:00～12:00

2 場 所 花のまちづくりセンター「ふるーらむ」研修室1

3 出席者

（委員） 久座長、磯貝委員、稲葉委員、大鋸委員、倉品委員、児玉委員、林原委員、日高委員、山田委員、岩井委員、北島委員

（事務局） 中川花のまちづくりセンター所長、巽みどり景観課課長補佐、松田みどり景観課緑化推進係長、中川みどり景観課副係長、中山みどり景観課

（欠席者） 1名

4 議事内容

1 開 会

2 案 件

（1）「平成27年度 みどり景観課所管の緑化推進に係る事業及び花のまちづくりセンターに係る事業概要について」

（2）その他

5 議事録

（1）「平成27年度 みどり景観課所管の緑化推進に係る事業及び花のまちづくりセンターに係る事業概要について」

【事務局説明】

- ・別紙「資料1」を説明

【委員意見等】

・保護樹木等の指定について20本指定する方向であったように思うが、また、具体的な場所がわからない。（発言）

⇒20本の指定候補樹木について、調査員の方々と市職員が所有者等に対して指定の協議を行った結果、昨年度12件指定し、3か所に看板を設置した。残りの候補樹木については、引き続き協議していく。

また、具体的な場所については、次回の懇話会で資料を配布する。

・市民の森の次候補の目星はあるのか。最低面積は、全て市街化区域か。（発言）

⇒以前に調査いただいた167か所の樹林地から、15か所に絞って頂いて、これについて

は残していきたいとの意見をいただいた。これをベースに土地所有者にアンケート調査を行い約 400 件中約 100 件から回答をいただいている。この際、アンケートの中に樹林地バンクと市民の森についての説明を盛り込んだ。このような制度に関心のある方が約 100 件中 15 件、約 40 か所であり、本年度はこれらを参考に市民の森の候補地を選びたい。最低面積は 300 m²以上。以前に市民の森事業の要綱を改正した際に市街化区域と隣接する市街化調整区域も含むようにした。

・緑の相談について、たけまるホールの実績は。また、花の相談と緑の相談に分かれているのか。(発言)

⇒平成 26 年度では全部で 641 件中、178 件。緑の相談員は 2 人おり、それぞれが花と緑の専門家であるが、両人とも、それぞれの分野の質問にはできる限り答えている。

・事業の結果について来年度から細かい資料が欲しい。(発言)

⇒了解しました。

・広報紙に花の情報が少ないが。市外への発信はしているのか。(発言)

⇒広報については、記事の締切が約 1 か月前であり、配布されるのが発行されてから 1～2 週間かかる場所もあるように聞いているので、タイムリーな話題を掲載するのは難しい。また、市外への発信については、ホームページを利用するとともに、平成 24 年度から Twitter、本年度から Facebook、またイベント情報についてはアストモというサイトにてイベントのチラシの掲載を行っている。生駒市の魅力に発信については前市長時代から City Promotion という企画に取り組んでおり、職員が本市の魅力の発信については積極的に取り組んでいる。

・告知することより、報告の充実を図ってほしい(発言)

・情報誌の活用は行っているのか。(発言)

⇒特に行っていない。

(2) その他について

【事務局説明】

＜市民の森事業進捗状況の報告＞

・5月16日に「生駒台みんなの森」が誕生。6月15日号広報紙で特集が組まれた。生駒台小学校の4年生が、この森を授業の中で活用したいとの申し出があった。

・広報紙の記事では場所がわからないのでは。(発言)

⇒場所に関する問合せは実際にあった。しかし、最近の広報紙では、大きな公園ができました、というようなことをPRするのではなく、市民の活動を紹介することへシフトしている。

今回の特集についても活動のPRを主としたものとしている。

【事務局説明】

＜第8回花と緑の景観まちづくりコンテストの第2回現地審査について＞

・次回の現地審査は、審査要領では9月末となっているので、9月最終週か10月第1週に開催したい。日程は調整のうえ連絡する。

＜次回懇話会の開催について＞

・次回の懇話会については、10月中旬から11月中旬頃に開催したい。日程は調整のうえ連絡する。